

OPTICON

UCC/EAN-128 専用

ユーザーズメニューブック



ウェルコムデザイン株式会社

本社 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル 〒651-2242
Phone. 078-993-6010 (代) Fax. 078-993-6020
東京 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル 〒113-0034
Phone. 03-3836-9411 (代) Fax. 03-3836-9412

August 2007 (第2版)

5J0080

目 次

1. はじめに.....	2
2. UCC/EAN-128 概要.....	2
3. 仕様概要.....	3
4. 設定方法.....	6
5. オプション設定.....	12
6. 出力モード1用アプリケーション識別子メニュー.....	14
7. 直接入力メニューバーコード.....	23

- 本書の内容につきましては、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審の点やお気づきの点がございましたら、弊社営業部までご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されております。個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断で使用することを禁じます。
- 本書の内容は改良のため予告なく変更する場合がございます。

1. はじめに

このたびは、弊社バーコードスキャナをご購入いただきまして、まことにありがとうございます。本書は UCC/EAN-128 対応機の各種出力モードの説明および設定バーコードを記載したものです。

(本仕様は UCC/EAN-128 対応モデルのみ有効です。お手持ちのバーコードスキャナをご確認下さい。)

2. UCC/EAN-128 概要

近年、企業間物流の管理システム（物流の梱包番号、重量表示、出荷先など）のために共通コード化、標準シンボル化のニーズが高まり、これを受ける形で流通情報システムの国際的な標準化機関である国際 E A N 協会が開発・制定されたのが EAN-128 システムです。

2-1. 印刷仕様

(1) 分解能

E A N 規格では最小分解能が 0.25 mm～1.25 mm と定めている。

日本国内の医療材料の協会では 0.169 mm の最小分解能を採用している。

(2) ラベル幅

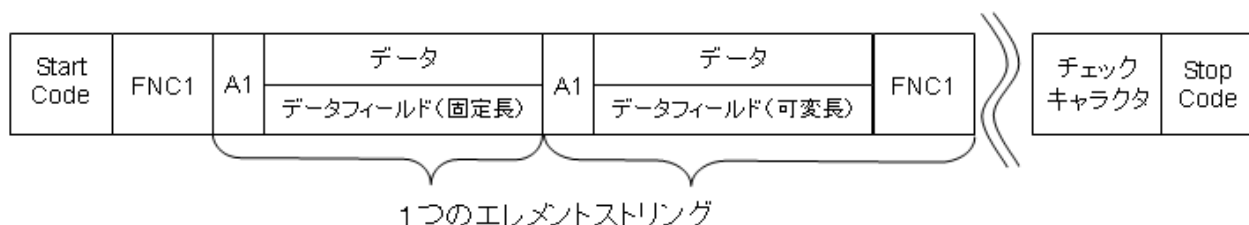
E A N 規格では数字のみの場合最大 48 桁、英数字の場合 26 桁と規定している。

但し、複数段のバーコード表示も認めている。

2-2. エンコード仕様

- ・基本となるバー構成は CODE-128 に準ずる。
- ・必ず Start Code + FNC1 で始まる。
- ・アプリケーション識別子 + データフィールドをエレメントストリングと呼ぶ。
- ・アプリケーション識別子により可変長データの場合があり、その場合は FNC1 をもってエレメントストリングが終わる。但しラベルの最終エレメントストリングの場合には、可変長データの場合でも FNC1 は入らない。
- ・アプリケーション識別子は 2～4 桁である。

UCC/EAN-128 のラベルフォーマット AI=アプリケーション識別子



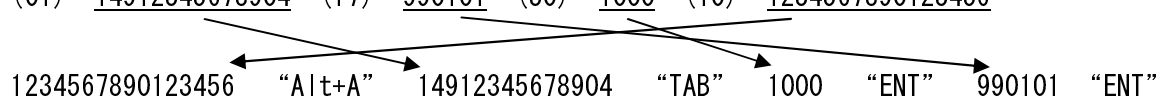
3. 仕様概要

UCC/EAN-128 の読み取りデータを目視することによって、データ区切り位置の識別は大変困難です。
バーコードスキャナによって、UCC/EAN-128 のデータ区切り位置やアプリケーション識別子を識別することで、区切り文字などの付加及び必要なデータみの抽出が行えます。
目的別に 5 つの出力モードを用意しております。

3-1. 出力モード 1

- ・読み取ったデータから指定したエレメントストリングの中のデータフィールドのみを抽出して、指定されたフォーマットで出力します。
- ・出力したデータにはデータ毎にヘッダ及びターミネータ（各 2 桁）が付加できます。
- ・小数点の指定があるデータを読み取った場合は、小数点を付加して出力されます。

出力例

	商品コード		有効期限		数量		ロットナンバー
(01)	<u>14912345678904</u>	(17)	<u>990101</u>	(30)	<u>1000</u>	(10)	<u>1234567890123456</u>
							

* コモンサフィックスを “ENT” に設定

設定内容

- ・出力順 ロットナンバー → 商品コード → 数量 → 有効期限
- ・ターミネータ ロットナンバー “Alt+A”
 商品コード “TAB”
 数量 “ENT”
 有効期限 無し

3-2. 出力モード2

- ・本来 UCC/EAN-128 のバーコードデータ中には () というキャラクタは含まれておりませんが、このモードはデータの表示と同じようにアプリケーション識別子を () で区切って出力するモードです。

出力例

	商品コード		有効期限		数量		ロットナンバー
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456
				↓			
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456 “ENT”

* コモンサフィックスを “ENT” に設定

3-3. 出力モード3

- ・読み取りデータからデータフィールドのみを抽出し、指定したフォーマットで出力するモードです。
- ・小数点の指定があるデータを読み取った場合は、小数点を付加して出力されます。

出力例

	商品コード		有効期限		数量		ロットナンバー
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456
				↓			
14912345678904	“TAB”	990101	“TAB”	1000	“TAB”	1234567890123456	

* エレメントストリングのセパレータを “TAB” 、コモンサフィックスを無しに設定

	商品コード		有効期限		数量		ロットナンバー
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456
				↓			
14912345678904,	990101,	1000,	1234567890123456	“ENT”			

* エレメントストリングのセパレータを “,” 、コモンサフィックスを “ENT” に設定

3-4. 出力モード4

- ・先頭の FNC1 を “]C1” に変換、2つ目以降の FNC1 (可変長データの終端) を “GS” に変換します。
- ・キーボードインターフェース使用時、2つ目以降の FNC1 は “Ctrl+]” として出力されます。

出力例

	商品コード		有効期限		数量(可変長)		ロットナンバー
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456
				↓			
“]C1”	0114912345678904	17990101	301000	“GS”	101234567890123456		“CR”

* コモンサフィックスを “CR” で設定

3-5. 出力モード5

- ・2つ目以降の FNC1 (可変長データの終端) を任意のキャラクタに変更し出力するモードです。

出力例

	商品コード		有効期限		数量(可変長)		ロットナンバー
(01)	14912345678904	(17)	990101	(30)	1000	(10)	1234567890123456
				↓			
	0114912345678904	17990101	301000	“F1”	101234567890123456		“ENT”

* 2つ目の FNC1 を “F1” 、コモンサフィックスを “ENT” に設定

4. 設定方法

ここからは出力モード別にメニューバーコードと設定方法を記載したものです。

4-1. 出力モード1

1		開始 (SET)
2		CODE-128 を読取可能にする
3		EAN-128 変換を有効にする モード1
4	P14～P22 のアプリケーション識別子メニューから対応するメニューバーコードを読み取る	
5	 ヘッダ1無し	ヘッダ1 設定 P23～P36 の直接入力メニューバーコードより読み取り * ヘッダ1 無しの場合は左記を読み取る
6	 ヘッダ2無し	ヘッダ2 設定 P23～P36 の直接入力メニューバーコードより読み取り * ヘッダ2 無しの場合は左記を読み取る
7	 ターミネータ1無し	ターミネータ1 設定 P23～P36 の直接入力メニューバーコードより読み取り * ターミネータ1 無しの場合は左記を読み取る
8	 ターミネータ2無し	ターミネータ2 設定 P23～P36 の直接入力メニューバーコードより読み取り * ターミネータ2 無しの場合は左記を読み取る
9	次に出力するアプリケーション識別子の読み取り (4に戻る)	
10		終了 (END)

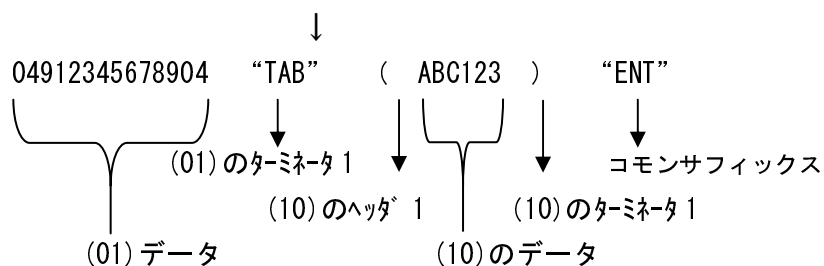
出力例

※1つ目のアプリケーション識別子 (01)

ヘッダ 1: 無し ヘッダ 2: 無し ターミネータ 1: “TAB” ターミネータ 2: 無し

※2つ目のアプリケーション識別子 (10)

ヘッダ 1: “(” ヘッダ 2: 無し ターミネータ 1: “)” ターミネータ 2: 無し



設定メニュー

- ・ ZZ （開始(SET)）
- B6 （CODE-128 を読取可能にする）
- X/1 （EAN-128 変換を有効にする モード 1）
- /01FF （アプリケーション識別子(01)）
- \$00 （ヘッダ 1 無し）
- \$00 （ヘッダ 2 無し）
- 7H （ターミネータ 1 “TAB” ）
- \$00 （ターミネータ 2 無し）
- /10FF （アプリケーション識別子(10)）
- 5I （ヘッダ 1 “（” ）
- \$00 （ヘッダ 2 無し）
- 5J （ターミネータ 1 “）” ）
- \$00 （ターミネータ 無し）
- ZZ （終了(END)）

4-2. 出力モード2

1		開始 (SET)
2		CODE-128 を読取可能にする
3		EAN-128 変換を有効にする モード2
4		終了 (END)

出力例



(01) 04912345678904 (17) 990101 (10) ABC123 “ENT”



アプリケーション識別子



アプリケーション識別子



コモンサフィックス



アプリケーション識別子

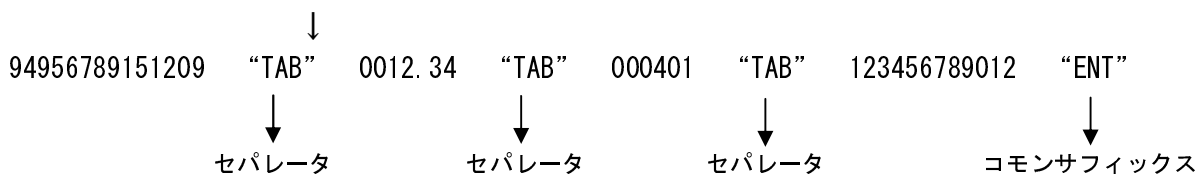
アプリケーション識別子

4-3. 出力モード3

1		開始 (SET)
2		CODE-128 を読取可能にする
3		EAN-128 変換を有効にする モード3
4		エレメントストリングセパレータ設定
5	P23~P36 の直接入力メニューバーコードから付加するバーコードを選択して読み取る	
6		終了 (END)

出力例

*エレメントストリングを “TAB” に設定



設定メニュー

- ・ ZZ (開始 (SET))
- B6 (CODE-128 を読取可能にする)
- X/3 (EAN-128 変換を有効にする モード3)
- X/X (エレメントストリングセパレータ設定)
- 7H (直接入力メニューバーコード “TAB”)
- ZZ (終了 (END))

4-4. 出力モード4

1		開始 (SET)
2		CODE-128 を読取可能にする
3		EAN-128 変換を有効にする モード4
6		終了 (END)

出力例



RS-232C インターフェース、USB (COM) インターフェース使用時

“]C1” 011491234567890417990101301000 “GS” 101234567890123456 “CR”
↓ ↓ ↓
EAN-128 先頭の FNC1 を変換 可変長データの終端の FNC1 を変換 コモンサフィックス

USB (HID) インターフェース、AT wedge インターフェース使用時

“]C1” 011491234567890417990101301000 “Ctrl+]” 101234567890123456 “ENT”
↓ ↓ ↓
EAN-128 先頭の FNC1 を変換 可変長データの終端の FNC1 を変換 コモンサフィックス

4-5. 出力モード5

1		開始 (SET)
2		CODE-128 を読取可能にする
3		EAN-128 変換を有効にする モード4
4		先頭 ”]C1” を出力しない
5		FNC1 変換キャラクタ設定
6	P23～P36 の直接入力メニューバーコードから付加するバーコードを選択して読み取る	
7		終了 (END)

出力例

* 可変長データの終端の FNC1 を “TAB” に変換



011491234567890417990101301000 “TAB” 101234567890123456 “ENT”



可変長データの終端の FNC1 を変換



コモンサフィックス

設定メニュー

- ・ ZZ (開始 (SET))
- B6 (CODE-128 を読取可能にする)
- X/4 (EAN-128 変換を有効にする モード4)
- X/Q (先頭 ”]C1” を出力しない)
- X/Y (FNC1 変換キャラクタ設定)
- 7H (直接入力メニューバーコード “TAB”)
- ZZ (終了 (END))

5. オプション設定

ZZ	 Z Z	開始 (SET) / 終了 (END)
B6	 B 6	CODE-128 を読取可能にする
X/0	 X / 0	EAN-128 変換を無効にする
X/A	 X / A	変換エラー発生時に出力しない (EAN-128 としてデコード出来なかった場合)
X/B	 X / B	変換エラー発生時に CODE-128 として出力する (EAN-128 としてデコード出来なかった場合)
X/C	 X / C	設定 AI がない場合、セパレータ等を入力する (モード 1 設定時のみ)
X/D	 X / D	設定 AI がない場合、セパレータ等を入力しない (モード 1 設定時のみ)
X/E	 X / E	YYMMDD 中の DD 部をそのまま出力する
X/F	 X / F	YYMMDD 中の DD 部が 00 の場合、出力しない
X/I	 X / I	セパレータ転送後ディレイを使用しない
X/J	 X / J	セパレータ転送後ディレイ 10 ms
X/K	 X / K	セパレータ転送後ディレイ 20 ms
X/L	 X / L	セパレータ転送後ディレイ 30 ms

X/M		セパレータ転送後ディレイ 1 倍
X/N		セパレータ転送後ディレイ 4 倍
X/O		セパレータ転送後ディレイ 16 倍
X/P		セパレータ転送後ディレイ 64 倍
X/Q		先頭 ”]C1” を出力しない
X/R		先頭 ”]C1” を出力する
X/S		小数点を無効にする (モード1、モード3設定時のみ)
X/T		小数点を有効にする (モード1、モード3設定時のみ)
X/W		データセパレータ設定 (この後に直接入力メニューバーコードを読み取る)
X/X		エレメントストリングセパレータ設定 (この後に直接入力メニューバーコードを読み取る)
X/Y		FNC1 変換キャラクタ設定 (この後に直接入力メニューバーコードを読み取る)
X/Z		設定内容表示
ZZ		開始 (SET) / 終了 (END)

6. 出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
00	不要	
01	不要	
02	不要	
10	必要	
11	不要	
12	不要	
13	不要	
15	不要	
17	不要	
20	不要	
21	必要	
22	必要	
23L ※1	必要 (データフィールド長=2L+1 例: 233 なら 2×3+1=7)	
240	必要	

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
241	必要	 / 2 4 1 F
250	必要	 / 2 5 0 F
251	必要	 / 2 5 1 F
252	不要	 / 2 5 2 F
30	必要	 / 3 0 F F
310D ※2	不要	 / 3 1 0 D
311D ※2	不要	 / 3 1 1 D
312D ※2	不要	 / 3 1 2 D
313D ※2	不要	 / 3 1 3 D
314D ※2	不要	 / 3 1 4 D
315D ※2	不要	 / 3 1 5 D
316D ※2	不要	 / 3 1 6 D
320D ※2	不要	 / 3 2 0 D
321D ※2	不要	 / 3 2 1 D

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
322D ※2	不要	 / 3 2 2 D
323D ※2	不要	 / 3 2 3 D
324D ※2	不要	 / 3 2 4 D
325D ※2	不要	 / 3 2 5 D
326D ※2	不要	 / 3 2 6 D
327D ※2	不要	 / 3 2 7 D
328D ※2	不要	 / 3 2 8 D
329D ※2	不要	 / 3 2 9 D
330D ※2	不要	 / 3 3 0 D
331D ※2	不要	 / 3 3 1 D
332D ※2	不要	 / 3 3 2 D
333D ※2	不要	 / 3 3 3 D
334D ※2	不要	 / 3 3 4 D
335D ※2	不要	 / 3 3 5 D

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
336D ※2	不要	 / 3 3 6 D
337D ※2	不要	 / 3 3 7 D
340D ※2	不要	 / 3 4 0 D
341D ※2	不要	 / 3 4 1 D
342D ※2	不要	 / 3 4 2 D
343D ※2	不要	 / 3 4 3 D
344D ※2	不要	 / 3 4 4 D
345D ※2	不要	 / 3 4 5 D
346D ※2	不要	 / 3 4 6 D
347D ※2	不要	 / 3 4 7 D
348D ※2	不要	 / 3 4 8 D
349D ※2	不要	 / 3 4 9 D
350D ※2	不要	 / 3 5 0 D
351D ※2	不要	 / 3 5 1 D

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
352D ※2	不要	 / 3 5 2 D
353D ※2	不要	 / 3 5 3 D
354D ※2	不要	 / 3 5 4 D
355D ※2	不要	 / 3 5 5 D
356D ※2	不要	 / 3 5 6 D
357D ※2	不要	 / 3 5 7 D
360D ※2	不要	 / 3 6 0 D
361D ※2	不要	 / 3 6 1 D
362D ※2	不要	 / 3 6 2 D
363D ※2	不要	 / 3 6 3 D
364D ※2	不要	 / 3 6 4 D
365D ※2	不要	 / 3 6 5 D
366D ※2	不要	 / 3 6 6 D
367D ※2	不要	 / 3 6 7 D

出力モード 1 用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
368D ※ 2	不要	 / 3 6 8 D
369D ※ 2	不要	 / 3 6 9 D
37	必要	 / 3 7 F F
390D ※ 2	必要	 / 3 9 0 D
391D ※ 2	必要	 / 3 9 1 D
392D ※ 2	必要	 / 3 9 2 D
393D ※ 2	必要	 / 3 9 3 D
400	必要	 / 4 0 0 F
401	必要	 / 4 0 1 F
402	必要	 / 4 0 2 F
403	必要	 / 4 0 3 F
410	不要	 / 4 1 0 F
411	不要	 / 4 1 1 F
412	不要	 / 4 1 2 F

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
413	不要	 / 4 1 3 F
414	不要	 / 4 1 4 F
415	不要	 / 4 1 5 F
420	必要	 / 4 2 0 F
421	必要	 / 4 2 1 F
422	必要	 / 4 2 2 F
423	必要	 / 4 2 3 F
7002	必要	 / 7 0 0 2
7030	必要	 / 7 0 3 0
7031	必要	 / 7 0 3 1
7032	必要	 / 7 0 3 2
7033	必要	 / 7 0 3 3
7034	必要	 / 7 0 3 4
7035	必要	 / 7 0 3 5

出力モード1用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
7036	必要	 / 7 0 3 6
7037	必要	 / 7 0 3 7
7038	必要	 / 7 0 3 8
7039	必要	 / 7 0 3 9
8001	必要	 / 8 0 0 1
8002	必要	 / 8 0 0 2
8003	必要	 / 8 0 0 3
8004	必要	 / 8 0 0 4
8005	必要	 / 8 0 0 5
8006	必要	 / 8 0 0 6
8007	必要	 / 8 0 0 7
8008	必要	 / 8 0 0 8
8018	必要	 / 8 0 1 8
8020	必要	 / 8 0 2 0

出力モード 1 用アプリケーション識別子メニュー

AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
8100	必要	 / 8 1 0 0
8101	必要	 / 8 1 0 1
8102	必要	 / 8 1 0 2
90	必要	 / 9 0 F F
91	必要	 / 9 1 F F
92	必要	 / 9 2 F F
93	必要	 / 9 3 F F
94	必要	 / 9 4 F F
95	必要	 / 9 5 F F
96	必要	 / 9 6 F F
97	必要	 / 9 7 F F
98	必要	 / 9 8 F F
99	必要	 / 9 9 F F

※ 1 : ” L ” はレングスを表しています。

※ 2 : ” D ” は小数点位置を表しています。

7. 直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
9G	NULL	使用不可	 9 G
1A	SOH	Ctrl + A	 1 A
1B	STX	Ctrl + B	 1 B
1C	ETX	Ctrl + C	 1 C
1D	EOT	Ctrl + D	 1 D
1E	ENQ	Ctrl + E	 1 E
1F	ACK	Ctrl + F	 1 F
1G	BEL	Ctrl + G	 1 G
1H	BS	Ctrl + H	 1 H
1I	HT	Ctrl + I	 1 I
1J	LF	Ctrl + J	 1 J
1K	VT	Ctrl + K	 1 K
1L	FF	Ctrl + L	 1 L

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
1M	CR	Ctrl + M	 1 M
1N	SO	Ctrl + N	 1 N
1O	SI	Ctrl + O	 1 O
1P	DLE	Ctrl + P	 1 P
1Q	DC1	Ctrl + Q	 1 Q
1R	DC2	Ctrl + R	 1 R
1S	DC3	Ctrl + S	 1 S
1T	DC4	Ctrl + T	 1 T
1U	NAK	Ctrl + U	 1 U
1V	SYN	Ctrl + V	 1 V
1W	ETB	Ctrl + W	 1 W
1X	CAN	Ctrl + X	 1 X
1Y	EM	Ctrl + Y	 1 Y

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
1Z	SUB	Ctrl + Z	 1 Z
9A	ESC	使用不可	 9 A
9B	FS	使用不可	 9 B
9C	GS	使用不可	 9 C
9D	RS	使用不可	 9 D
9E	US	使用不可	 9 E
9F	DEL	Ctrl + BackSpace	 9 F

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
5A	(SPACE)	同左	 5 A
5B	!	同左	 5 B
5C	”	同左	 5 C
5D	#	同左	 5 D
5E	\$	同左	 5 E
5F	%	同左	 5 F
5G	&	同左	 5 G
5H	'	同左	 5 H
5I	(	同左	 5 I
5J	)	同左	 5 J
5K	*	同左	 5 K
5L	+	同左	 5 L
5M	,	同左	 5 M

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
5N	- (Hyphen)	同左	 5 N
50	.	同左	 5 0
5P	/	同左	 5 P
6A	:	同左	 6 A
6B	;	同左	 6 B
6C	<	同左	 6 C
6D	=	同左	 6 D
6E	>	同左	 6 E
6F	?	同左	 6 F
6G	@	同左	 6 G
7A	[	同左	 7 A
7B	¥	同左	 7 B
7C	]	同左	 7 C

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
7D	^	同左	 7 D
7E	_ (UnderBar)	同左	 7 E
7F	`	同左	 7 F
9T	{	同左	 9 T
9U		同左	 9 U
9V	}	同左	 9 V
9W	~	同左	 9 W

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
Q0	0	同左	 Q 0
Q1	1	同左	 Q 1
Q2	2	同左	 Q 2
Q3	3	同左	 Q 3
Q4	4	同左	 Q 4
Q5	5	同左	 Q 5
Q6	6	同左	 Q 6
Q7	7	同左	 Q 7
Q8	8	同左	 Q 8
Q9	9	同左	 Q 9

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
0A	A	同左	 0 A
0B	B	同左	 0 B
0C	C	同左	 0 C
0D	D	同左	 0 D
0E	E	同左	 0 E
0F	F	同左	 0 F
0G	G	同左	 0 G
0H	H	同左	 0 H
0I	I	同左	 0 I
0J	J	同左	 0 J
0K	K	同左	 0 K
0L	L	同左	 0 L
0M	M	同左	 0 M

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
ON	N	同左	 0 N
OO	O	同左	 0 0
OP	P	同左	 0 P
OQ	Q	同左	 0 Q
OR	R	同左	 0 R
OS	S	同左	 0 S
OT	T	同左	 0 T
OU	U	同左	 0 U
OV	V	同左	 0 V
OW	W	同左	 0 W
OX	X	同左	 0 X
OY	Y	同左	 0 Y
OZ	Z	同左	 0 Z

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
\$A	a	同左	 \$ A
\$B	b	同左	 \$ B
\$C	c	同左	 \$ C
\$D	d	同左	 \$ D
\$E	e	同左	 \$ E
\$F	f	同左	 \$ F
\$G	g	同左	 \$ G
\$H	h	同左	 \$ H
\$I	i	同左	 \$ I
\$J	j	同左	 \$ J
\$K	k	同左	 \$ K
\$L	l	同左	 \$ L
\$M	m	同左	 \$ M

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
\$N	n	同左	 \$ N
\$O	o	同左	 \$ O
\$P	p	同左	 \$ P
\$Q	q	同左	 \$ Q
\$R	r	同左	 \$ R
\$S	s	同左	 \$ S
\$T	t	同左	 \$ T
\$U	u	同左	 \$ U
\$V	v	同左	 \$ V
\$W	w	同左	 \$ W
\$X	x	同左	 \$ X
\$Y	y	同左	 \$ Y
\$Z	z	同左	 \$ Z

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
8J	使用不可	F1	 8 J
8K	使用不可	F2	 8 K
8L	使用不可	F3	 8 L
8M	使用不可	F4	 8 M
8N	使用不可	F5	 8 N
8O	使用不可	F6	 8 O
8P	使用不可	F7	 8 P
8Q	使用不可	F8	 8 Q
8R	使用不可	F9	 8 R
8S	使用不可	F10	 8 S
8T	使用不可	F11	 8 T
8U	使用不可	F12	 8 U

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 Z Z
7H	使用不可	Tab	 7 H
7J	使用不可	Esc	 7 J
7K	使用不可	↓ (Down Arrow)	 7 K
7L	使用不可	↑ (Up Arrow)	 7 L
7M	使用不可	→ (Right Arrow)	 7 M
7N	使用不可	← (Left Arrow)	 7 N
7O	使用不可	PageUp	 7 O
7P	使用不可	PageDown	 7 P
7Q	使用不可	Enter	 7 Q
7T	使用不可	Delete	 7 T
VQ	使用不可	Insert	 V Q
VR	使用不可	Home	 V R
VS	使用不可	End	 V S

直接入力メニューバーコード

	RS-232C I/F USB (COM) I/F	USB (HID) I/F AT wedge I/F	メニューバーコード
ZZ	開始 (SET) / 終了 (END)	同左	 z z
9X	使用不可	BackSpace	 9 x
7V	使用不可	Shift + ※ 3	 7 v
7X	使用不可	Ctrl + ※ 3	 7 x
7Z	使用不可	Alt + ※ 3	 7 z

※ 3 : Shift、Ctrl、Alt を単体で出力の場合は、直接入力メニューバーコードを 2 回読み取って下さい。

人にやさしく、地球にやさしく

Thoughtfully, Living with the Earth

WELCOM DESIGN

<http://www.e-welcom.com/>

ウェルコムデザイン株式会社

本社 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル 〒651-2242

Phone. 078-993-6010 (代) Fax. 078-993-6020

東京 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル 〒113-0034

Phone. 03-3836-9411 (代) Fax. 03-3836-9412

